

第168回 医療技術者研修会

探求アプローチー前向きなインシデント報告の活用

講師：長谷川 剛 先生

泉大津急性期メディカルセンター クオリティ管理センター センター長

主催 一般財団法人東京保健会 病体生理研究所

【講演要旨】

インシデント報告は医療安全活動の中心を担うものだが、提出されたレポートの扱い方にはいまだ改善の余地がある。RCAのような従来型の過去に遡る分析手法に対して、エラー発生後の「発見」や「対処」に焦点を当てて検討する手法を「探求アプローチ」と呼ぶこととしその実践について紹介する。この手法によってエラーや事故の従来の見方を変えることができ、さらにヒアリングによって発生しがちな陰性感情を予防することができる。

【略歴】

1991年筑波大学医学専門学群卒業
自治医科大学胸部外科レジデント
ピッツバーグ大学病理部門リサーチフェロー
自治医科大学付属病院医療安全対策部教授
上尾中央総合病院情報管理特任副院長等を経て現職

【関連著書】

これからの医療安全対策に取り入れたい視点：探求アプローチのすすめ（看護管理 2025年7月号）

【所属学会】

日本医療病院管理学会 医療の質安全学会 日本呼吸器外科学会

【日時】2026年1月10日（土）午後2時～4時

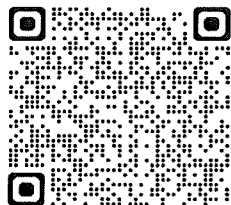
【会場】web オンラインのみの開催となります。

【参加費】無料 【定員】Web 100名（接続数）

申し込み方法

1. 下のQRコードをスキャンして“Google フォーム”よりお申込みください。
2. 同一施設で複数名申し込みの場合は施設視聴をお勧めします。先着順で締め切ります。あらかじめご了承ください。
*定員到達後の申込者へは「締切済」通知をメールで送付します。

注記：本財団は個人情報保護法を遵守し、いただいた情報は本研修会に係る受付・運営のみに利用いたします。



連絡先 〒173-0032 東京都板橋区大谷口上町 26-2 TEL:03-3956-4120

一般財団法人東京保健会 病体生理研究所 医療技術者研修企画係

Email:seminar@byotai.or.jp